

---

## 特別講演会のご案内

---

- 日時： 令和元年12月26日(木) 14:00~17:40 (受付開始 13:30)
- 会場： 鹿児島大学工学部 海洋土木工学科棟 2階アクティブラーニング室
- 参加費： 無料
- 主催： 構造物診断技術研究会、鹿児島大学地域コトづくりセンター  
鹿児島大学海洋土木工学科
- 土木学会 CPD プログラム申請予定

### ～ 特別講演会 ～

#### 『北陸エリアにおけるインフラの実効的維持管理に向けた取り組み例』

14:00~14:10 開会挨拶

14:10~15:10 講演①『ICTを活用した道路橋床版の点検診断の高度化』

講師：田中 泰司 氏 (金沢工業大学 准教授)

##### (講演概要)

全国の高速道路や寒冷地の国道では、道路橋床版に砂利化(土砂化)といわれる劣化が生じ、この劣化を原因とする緊急対策や更新事業が数多く行われている。この砂利化による対応は、道路システムの大半の維持管理を要する問題であることから、この劣化事象を早期にかつ正確に検知し、適切な対策を講じる必要がある。現状では舗装上面と床版下面からの定期目視観察に頼っているが、それでは劣化進行を予見できないことが判明しつつある。そこで、本発表では様々な非破壊試験機による床版劣化検出の可能性と非破壊試験データから余寿命を評価する構造解析技術について紹介する。なお、本発表の内容は内閣府のSIP事業東京大学チームにおいて実施されたものである。

15:10~15:20 休憩

15:20~16:20 講演②『リモートセンシング技術を活用した土木構造物点検の動向』

講師：徳永 光晴 氏 (金沢工業大学 教授)

##### (講演概要)

本年2月に道路橋定期点検要領、3月に橋梁定期点検要領が改定された。改定された点の一つに、定期点検において、近接目視で得られる情報と同等の診断を行なうことのできる情報を活用しても良いことになった。すなわち、道路点検において、ドローン、ロボット、赤外センサーなどのICT技術や非破壊検査の利用が可能になったことを意味している。しかしながら、これらの技術をどのような条件のもとで利用すれば、同等の情報が得られるのかははっきりしていない。またこれらの技術の進歩はいちじるしくその動向についても解説する。本発表では、ドローンやサーモグラフィを活用してどのような情報が得られるのか、実験した結果を報告する。さらに、道路橋以外にも、砂防堰堤、道路脇の街路樹の点検についても言及する。

16:20~16:30 休憩

16:30~17:30 講演③『地方の大学・高専連携による市町村の道路橋維持管理への支援』

講師：宮里 心一 氏（金沢工業大学 教授）

（講演概要）

6 大学と 2 高専の教員が連携して、北陸地方の 6 割の市町村を訪問し、道路橋の維持管理者へ聞き取り、その実情と課題を調査した。その結果、市町村が所有する膨大な数の小規模橋梁（2~5m）の維持管理（点検→診断→措置→記録）を、どのように効率化するのは、喫緊かつ最大の課題であることが明らかになった。ここで、従来の学協会の指針やマニュアルは、国や NEXCO、JR などの大規模な橋梁を対象としており、小規模な地方道路橋の実情とは実施要領が異なっており、そのまま転用することは難しい。そこで、「北陸地方の市町村が管理する短支間橋梁における標準的な維持管理の手引き」を提案した。また、北陸 3 県で技術展示会を 3 年間に亘り開催し、市町村の職員や地元のコンサルタントの技術者が最新の技術情報を知る機会と、関東を含む他地方の点検・補修に関する開発技術者が北陸地方のニーズを知る機会を設けた。本発表では、それらの活動の概要を説明し、社会インフラの老朽化対策に関する地方の展望等を考える。

17:30~17:40 閉会挨拶

-----

<講師略歴>（講演順）

田中 泰司 氏（金沢工業大学工学部 環境土木工学科 准教授）

東京大学工学部社会基盤システム計画学科卒。東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻修士課程修了。2004 年長岡技術科学大学助手、2008 年同助教。2006 年博士（工学）取得。2015 年東京大学生産技術研究所特任准教授。2018 年本学准教授就任。

専門：コンクリート工学、維持管理工学

（研究室：<https://kitnet.jp/laboratories/lab0205/index.html>）

徳永 光晴 氏（金沢工業大学工学部 環境土木工学科 教授）

東京理科大学理学部応用数学科卒。東京大学工学系研究科社会基盤学専攻博士（工学）。セントラル・コンピュータ・サービス（株）主任企画員、東京大学生産技術研究所受託研究員、同大学講師を経て、2002 年本学助教授就任。2007 年現職。

専門：リモートセンシングおよび地理情報システム

（研究室：<https://kitnet.jp/laboratories/lab0144/index.html>）

宮里 心一 氏（金沢工業大学工学部 環境土木工学科 教授）

東京工業大学工学部土木工学科卒。同大学大学院理工学研究科修士課程（土木工学）修了。同大学大学院理工学研究科国際開発工学専攻助手を経て、2001 年本学講師就任。助教授を経て、2011 年現職。2016 年～学科主任兼専攻主任。2017 年～地域防災環境科学研究所所長。

専門：建設材料学、鉄筋コンクリート工学、メンテナンス工学

（研究室：<https://kitnet.jp/laboratories/lab0145/index.html>）

-----

<参加申込> 一般社団法人構造物診断技術研究会 事務局

ホームページ：<https://www.rodts.jp/event.html>（申込フォームに入力し送信してください）

ホームページから申し込みできない場合はメールにてお申し込みください

E-mail：[kensetsu.secretary@oce.kagoshima-u.ac.jp](mailto:kensetsu.secretary@oce.kagoshima-u.ac.jp) TEL：099-285-8478